

議決権行使レポート

証券コード 6070

会社名 キャリアリンク株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件			
成澤 素明 氏	○		
島 健人 氏	○		
藤枝 宏淑 氏	○		
森村 夏美 氏	○		
前田 直典 氏	○		
北村 聡子 氏	○		

上記の推奨をした理由

第1号議案に関して

普通株式1株につき金110円の配当であり、これについて賛成である。人材サービス事業を展開するキャリアリンク株式会社は、3度に渡る新型コロナウイルス感染症の拡大や円安の進行、生活必需品の物価上昇などによる国内景気の先行きの不透明さに大きく影響を受ける立場にあった。しかし、段階的な感染症規制緩和により個人消費の緩やかな回復及び企業収益が好調に推移したことを背景に企業の雇用拡大意欲が旺盛になってきたことなどから求人倍率が上昇基調になり、この好機を逃さず積極的な展開を行い増収・増益の業績という結果を残した。実際、年間1株配当金に関して2021年2月では20円、2022年3月では40円、そして今回の議案では2023年3月では110円と飛躍的な伸びを見せており、これが実現すると3期連続の増配となる。配当利回りについては3.63%と市場全体と比較してもかなり高いと言え、配当性向についても22.8%と平均的に十分還元していると言える。これらの業績の飛躍的な上昇による配当の大幅な増加・還元は株主に対して非常に好意的なものと結論付けられる。よって私はこれに賛成である。

第2号議案に関して

上記6名は全員再任であり、私はこれに賛成である。成澤氏、島氏、藤枝氏、森村氏、前田氏に関しては、社内における取締役を務め昨年から引き続きの任命となる。2022年度のキャリアリンクの業績は、第1号議案でも触れたように非常に好調であった。さらに売上高、営業利益、経常利益のすべてが過去最高の数値を記録しており、前年度（2022年

度)と同様の体制で始動することに全く問題はないだろう。次に北村氏については同様に昨年から引き続きとなる社外取締役である。北村氏は日本弁護士連合会 常務理事、株式会社さくらさくプラス 社外取締役、明治安田生命保険相互会社総代候補者選考委員会事務局長など(一部抜粋)を現任していることから、弁護士としての専門的知識及び企業法務に高い見識、上場企業の社外取締役を歴任するなど豊富な経験を有していると言える。さらには、当事業年度に開催された取締役会 18 回全てに出席しており、業務執行に関する責任能力は十分である。ゆえに、これらの知識・経験を活かし、社外の独立した立場から監督機能強化への貢献及び取締役会の意思決定の妥当性、適正性を確保するための助言を行うことができると判断し、前年度からの再任に問題は同様に全くない。また、この第 2 号議案が承認された場合の取締役会の構成についても、代表取締役社長である成瀬氏を筆頭に、企業経営・事業経営、営業・マーケティング、法務・コンプライアンス、サステナビリティ・ESG など、各役員が特に経験・専門性を活かすことができる分野を割り振っており体系的な活躍を期待できる。新型コロナウイルスの影響が収まりこれから多くの需要を生み活性化するであろう人材サービス業界での競争において、引き続き業績を伸ばしていくことを望むことができる 6 名と言える。よって私はこれに賛成である。

【参考文献】 全て 6 月 27 日アクセス

・ 2023 年定時株主総会招集通知及び株主総会資料

<https://www2.jpx.co.jp/disc/60700/140120230612501278.pdf>

・ キャリアリンク(6070)：株式・株価、企業概要 | 株予報 Pro

<https://kabuyoho.jp/sp/reportTop?bcode=6070>